

各部王の
參觀

各部王の
年俸

各部王中
の最富者

王公と人
民との關
係

下纏頭回約一千戸(人口約五千)に對する行政權、司法權を掌握す。口碑に據れば、哈密

の纏頭回は、元來蒙古族なりしも、回部の旺盛時代之に歸服したるものなりと云ふ。

以上各王の内、蒙古王回部王は、各部毎に輪番に一人宛北京へ參觀すること、恰も我舊幕時代に於ける諸侯の江戸に參觀するものに似たり。

今清廷が各部王以下に給與する所の年俸及其の所有財産を觀るに、

汗王 二千五百兩、 親王 二千四百兩、 郡王 一千二百兩

貝勒 八百兩、 貝子 五百兩、

各王中、最も富む者を哈密親王とす。其の所有財産大略左の如し。

羊十餘萬頭、 牛 一萬餘頭

家畜 馬五千餘頭、 駱駝五千餘頭

其他、三道嶺の石炭礦及多くの耕地を有すと。

之に次ぐは吐爾扈特汗王にして、羊五萬頭、牛、馬各數千頭を有すと云ふ。

汗王及親王以下の王公は、共に同種族中名門の出なるに因り、同宗派、同種族は多少の尊敬を拂ひつゝ在るも、中には素行修らず、濫りに尊大の振舞を爲す者の少な